

平成 27 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 28 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勸次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー
3. 校長名 中野勸次郎
4. 認可 平成7年3月20日
5. 開校 平成7年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-12 (Tel) 053-452-2121
7. 課程 文化・教養専門課程
8. 学校の沿革
 - 平成7年3月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
 - 平成7年4月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
 - 平成17年4月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
 - 平成20年3月 学校法人爽青会 認可
 - 平成21年4月 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーに校名変更
 - 平成26年3月 設置4学科で職業実践専門課程認定
 - 平成27年4月 イラストレーション科、広告・写真・Web デザイン科で3年制課程開始
 - 平成28年4月 衛生専門課程 美容師科新設予定

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝くときが来る)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性・新旧の美意識に学び、日本流・新デザインを世界に問う

重点項目

- ・教育理念・経営計画の再徹底（教務年度計画書の作成・学生募集、就職、在籍の目標と責任）
- ・中途退学者の防止対策（入試面接の改良・常勤、非常勤講師内での情報共有）
- ・自活できる就職先開拓（就職先企業の分析・学科毎/個人別内定会社像の立案）
- ・教務部の自立性向上（管理職育成、自立運営体制の継続）
- ・学科ごとの適性教員数の確保
- ・教職員の就職、技術指導の再教育

11. 設置学科（平成27年度～）

イラストレーション科（昼3年 男女 定員35名）

広告・写真・Web デザイン科（昼3年 男女 定員35名）

プロマンガ科（昼2年 男女 定員40名）

ブライダル・トータルビューティー科（昼2年 男女 定員40名）

建築士・インテリアコーディネーター科（昼2年 男女 定員20名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数（平成28年2月1日現在） 135名

13. 教職員数（平成28年2月1日現在） 31名

14. 学校建物面積 2115㎡

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎 (委員長)
2. 事務局 林 千洋
3. 事務局 杉浦英樹
4. 事務局 中野良太
5. 教務部 池田孝司
6. 教務部 前田健一
7. 教務部 竹田侑里

・監査委員

1. 事務局長 藤原研一
2. 事務局 鈴木博昭

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

平成27年12月8日 制作方針に関する担当者会議

平成27年12月21日 制作方針決定

平成28年1月13日 自己点検・評価委員会 第1回制作会議

平成28年1月20日 自己点検・評価委員会 第2回制作会議

平成28年2月3日 自己点検・評価委員会 内部監査

平成28年5月7日 設置者への報告

平成28年5月14日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 阿部 徹 元静岡県教育長
2. 鈴木 かおる 株式会社浜松ビジネススクール 代表
3. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
4. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 副会長

2) 開催日・場所

平成28年2月29日 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー401教室にて開催

4 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
	② 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	③ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	④ 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	⑤ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学校運営	① 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	4
	③ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	④ 目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	4
	⑤ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	⑥ 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	⑦ 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	⑧ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3
	⑨ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	⑩ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	⑪ 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	3	4
	⑫ 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	4
	⑬ 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教育活動	①教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	3
	②キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
	③教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	④デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4

	⑤資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	⑥学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	⑦Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	3
	⑧デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
	⑨シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	⑩実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	4
	⑪学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	⑫成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	⑬職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	⑭授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
	⑮閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	⑯教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	4
	⑰人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	⑱教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3
	⑲デザイン・ビューティー関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	⑳職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果の評価し、文書により記録しているか）	3	4
	21 デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	3
4 学 修 成 果	①学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	②卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
	③評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	3
	④学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	3
	⑤成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	⑥ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	⑦学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	3

⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
--	---	---

5 学生支援	①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	②学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	③保護者と適切に連携しているか	4	4
	④社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
	⑤卒業生への支援体制はあるか	3	3
	⑥図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	⑦学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑧学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	4
	⑩学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	⑪高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	②学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3	3
	③教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	④防災に対する体制は整備されているか	4	4
	⑤学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	②履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	③学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	④学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	⑤学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	⑥評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	⑦学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	⑧教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	⑨学納金は妥当なものとなっているか	4	4

8 教育の内部質保証システム	①個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	②法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	③文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	3
	④自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
	⑤監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	⑥内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	4
	⑦内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4	4
	⑧自己点検・評価結果を公開しているか	4	4
9 財務	①財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	②財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	③中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3
	④予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4
	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	3
11 国際交流（必要に応じて）	①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか		
	②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか		
	③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか		
	④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5. 評価の理由とコメント

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育理念・目標	1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念等を定めた上で、原点確認研修で教職員へ、学生必携で学生へ周知を図っている	4	・ゆらがない部分と新しい取り組みがみごとに両立されている(鈴木)・やや抽象的であり明確に規定されている、多様な解釈ができる(安武)
	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を開催し、また企業訪問や業界団体との連携により、業界動向やニーズを調査している	4	・企業関係者を招いての研修会も実施している(安倍)・教職員が一丸となり取り組んでいるのが感じられる(鈴木)・業界動向が変化し続けることへの対応として採用実績、企業規模、就労形態に多様性があるとより望ましい(安武)
	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	業界動向・ニーズの調査や学生からの授業評価等を基に、学科運営計画を立て、各科目のシラバスを作成している	4	・「今」を意識してニーズ検討されている(鈴木)・上記同様に「誰の」「どの様な」ニーズかという前提が大変重要であると思われた(安武)
	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	デザイン・ビューティー系の職種として本校が実践教育を展開する学科を5つに分類し、学校を設置、運営している	4	学科名など深い想いを感じる(鈴木)・学科名称及びカリキュラム(シラバス)によって明確に記載されている(安武)
	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	学生・保護者への周知は入学前のオープンキャンパスや入学後の説明会、オリエンテーションにて、複数回実施し周知を図っている	4	・様々な社会をとらえて理解周知に努めている(安倍)・良く出来ている(鈴木)・専門用語ではない文言によりわかりやすいと思われる(安武)

① 課題

教育理念等は明確に定められ、文書等で教職員並びに学生へ提示、説明されているが、具体的に浸透度を図る仕組みがない。

② 今後の改善方策

学生への浸透度を図る仕組み(例:校訓の実行の具体的手法5「メモを取る習慣」の指導状況と定着度を確認)を段階的に構築する。

③ 特記事項

中長期的な取り組みとして、爽青会オリジナルの伸びしろのある人材養成プログラム「ルネサンスメソッド」を2016年度中に構築し、学生教育の柱として定着させていく。

《学校関係者評価委員会での意見》

1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)

・言葉としてやや抽象的であるため多様な解釈ができるのでは。

2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか

・企業関係者を招いての研修会も実施していることは評価できる。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
2 学校運営	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	必要な学則変更を適宜実施し情報公開を更新しつつ、専修学校設置基準並びに職業実践専門課程認定要件に沿った運営をしている	4	
	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	月次管理職会議(MCM&月次会議)により意思決定される仕組みはあるが、決済機能においては、学内ネット上で機能しているが、全職員に明文化されていない。	4	・自己評価課題が明確なので取り組んでほしい(鈴木)・ネット上で機能していることが保証、確認されることで評価できると思われる(安武)
	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務に関しては経理規程で、教務に関しては主として学科運営方針にて、意思決定システムを整備している	4	
	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	事業計画策定は理事会・評議員会にて行われ、議事録として残されているがそれが反映されたかの報告書が残されていない。	4	策定のしきみがあり、記録が報告されている姿勢が企業文化として徹底していることが重要(安武)・事業計画が策定され議事録としてあれば良い(原)
	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	計画書は無いが、運営計画は学校長の承認を経て実施されているため、評価は4とした。	4	
	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	賞与、昇格等の規定を人事制度マニュアルにおいて整備している	4	
	7 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年に2回全体講師会を開催し、意思統一を図るとともに、毎回の授業においては授業報告書をもって情報のリアルタイムな共有を図っている。	4	
	8 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	防災計画や個人情報の取り扱い等、コンプライアンスに対する本校の方針はパネルとして学内掲示し、公表しているが、その策定・共有する体制は整備されていない。	3	・自己評価課題が明確なので取り組んでほしい(鈴木)
	9 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報公開を公式ホームページで展開している	4	
	10 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている	4	
	11 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	3	月次経営会議にて、業務計画の見直しは実施しているが、「企業の経営を管理する制度や方式」を見直す場ではないため、マネジメントレビューとして不足している。	4	・ペット校と比較した場合は、情報不足(マネジメントに因する)の観があり、運営の方向性が暗黙知として徹底されている印象がある反面、本人に改善意欲が乏しいことが懸念された(安武)

12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	利害関係者からの苦情などは適切に対処する手順はあるが、明文化されていない。	4	・記録簿の作成が望ましい(原)
13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	利害関係者の中で、学生・保護者には相談受付方法は、学生必携にて案内している。また、出身高校・内定先企業へHP上に問い合わせフォームを用意している。	4	

① 課題

コンプライアンスに対する本校の方針はパネル(環境・健康・保安・社会貢献・安全・ボランティアなど)として学内掲示し、公表しているが、その策定・共有する体制は整備されていない。

② 今後の改善方策

学内で策定・共有・公表する体制をまずは整備した上で、業界や地域社会等への対応・認識を共有できるよう体制化していく。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

- 11 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか
- ・ベト校と比較した場合は、情報不足(マネジメントに因する)の観があり、運営の方向性が暗黙知として徹底されている印象がある反面、本人に改善意欲が乏しいことが懸念された。
- 12 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか
- ・苦情・要請への対応に対しての記録簿の作成が望ましい。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3	学習時間の確保の中に、自主学習を必要とする科目において、必要自主時間数がシラバスに明文化されていない。	3	・必携において各校とも抽象的な「到達レベル」表記が多い。マークにあるようにCAN-DO形式に変更する事を検討してはいかかかと感じる(安武)
2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	変化の速い業界動向に対し、常に最新の情報を得るべく、有識者による意見を聴取する場としての教育課程編成委員会を開催している	4	
3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	年度の授業が全て終了し、新年度を迎える期間で「学科運営方針」策定し、関係各所での共有を図っている	4	
4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	教育課程編成委員会で得た意見や指摘を年度後期または次年度に反映し、必要なら見直しを行っている	4	
5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	特に必修受験資格に関しては、授業内に対応科目を配置し指導している	4	

3
教育活動

6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	専門講義科目、専門実習科目、一般科目に分類し、教育目的に沿い、実習と講義のバランスがとれたカリキュラムを編成している。	4	
7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	授業シラバスは作成されているが、Can-Doを意識した「到達技能(ここまでできるように)」が、全ての授業シラバスに明文化されていない。→講師依頼方法の改善	3	・技術系の学習の場合Cando形式はある程度有効であると考え。シラバスとして記載事項の充実が望まれると思われる(安武)
8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次末に授業の一環としてのインターン実習を実施し、関連分野における職業教育を受けている	4	
9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	各授業開始時の授業オリエンテーションにおいて、各講師から配布し説明している	4	
10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	授業名、担当者、使用教室、授業時間を明記した時間割表を作成し、講師会資料等で共有している	4	
11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	評価項目に再考すべき点はあるものの適切に運営されている。	4	
12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学生においては学生必携内に成績評価、進級規程等を明確に記載し、周知している	4	
13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	インターン実習における実習評価を実習受け入れ先に依頼し、学生指導並びに職業教育の策定に活用している	4	
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	新任講師の着任時の評価体制はあるが、通常授業は体制化されていない。→常勤講師の授業見学・評価・改善を体制化する	3	・授業力の向上を目指すために常勤、非常勤講師が互いに授業を見せ合い評価することも必要か(安倍)・年1回の研修日(公開授業等)を年間日程に入れておくなど積極的な評価共有が必要と思われる(安武)
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則や講師契約書に個人情報の保護に関する規程を設け、またデータ等はアクセス制限を設け個人情報保護に配慮している	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	講師の意見を授業報告書から、学生の声を授業アンケート等から集め、定期的に開催する教務部会で学習環境等の確認を確認・検証している	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	コア・コンピテンシーについて言及した職務記述書を作成済。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	行動評価を年2回実施、記録しているが、職務記述書(採用時の職務経歴書はある)がない。	3	

19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	教員のキャリアに応じて、専門実務研修並びに指導力研修を実施している	4	・研修体系をマトリックスして講師に示すことも一考を。(もとめられるスキル、専門性)(安部)
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	研修は適時実施しているが、効果を評価し、文書により記録していない。	4	・専門性、職務歴、ルネサンスにおける立場の共有が出来ている(鈴木)・適宜自己目標、自己評価のしくみがあれば充分ではないかと考える(安武)
21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	一部学科において業界団体との連携が希薄であり、新規の加盟・連帯確保が必要である。	3	・学部間の情報共有が出来ていて必要なものが把握できている(鈴木)・左記の「理由」に同意した(安武)

① 課題

- A:行動評価を年2回実施、記録しているが、職務記述書(採用時の職務経歴書はある)がない。
 B:授業の評価体制は新任講師の着任時に実施しているが、通常授業は体制化されていない。
 C:一部学科において業界団体との連携が希薄であり、新たな加盟や連帯確保が必要である。

② 今後の改善方策

- A:常勤講師の授業評価を定期的実施し、授業見学・評価・改善指導を体系化する。
 B:職務記述書(教職員の新規取得資格や企業コラボ実績等)を作成し、年度毎に更新し、評価・記録する仕組みを構築する。
 C:業界団体(JAGDA等)を調査・検討し、加盟すべき団体への手続きを2016年度内に実施する。

③ 特記事項

新設の3年制学科の完成年度に向けて、3年の就学期間としての教育活動を体系化するために、改めて業界のニーズを収集し、カリキュラムの充実、学校行事の効果的配置を検討・試行する。

《学校関係者評価委員会での意見》

1 授業評価の実施・評価体制はあるか

・連携において各校とも抽象的な「到達レベル」表記が多い。マークにあるようにCAN-DO形式に変更する事を検討してはいかがかと感じる。

19 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

・研修体系をマトリックスして講師に示すことも一考を。(もとめられるスキル、専門性)

20 職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)

・専門性、職務歴、ルネサンスにおける立場の共有が出来ている(鈴木)・適宜自己目標、自己評価のしくみがあれば充分ではないかと考える。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
4 学 修 成 果	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	成績表は各科目のA～D評価に加え、授業を横断した能力別マトリクス評価を実施している。また進級卒業判定会議を開催し、卒業資格等の確認をして上で進級卒業を判定している	4	・人材評価=成績評価は進級、卒業制作の項目だけではなく、各科目で実施されている方が良い。(安武)
	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生の就業先へのインターン訪問時に把握しているが、量的に不十分である。→卒業後アンケートの実施。	3	・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくといいか(安倍)・左記コメントに同感(安武)
	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	3	学生向け科目別はシラバスにて記述されているが、学科・学校単位で明文化されていない。	3	・左記コメントに同感(安武)
	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	年間スケジュールにおいて学生の評価期間を明記し、教職員の評価期間や内容に関しては就業規則や人事制度で規定している	4	・デザイン校の場合、既存のしくみ(業界ネットワーク、地域社会ネットワーク)を活用することで評価が行えると考え(安武)
	5 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	各学科ごとに年間の教育運営を年度末にまとめた上で、新年度の計画を「学科運営計画書」としてまとめている	4	・大変考慮されていると感じる(安武)
	6 ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	評価をとりまとめているが、評価報告書として整備されていない。	3	・左記のコメントに納得(安武)
	7 学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	授業における業務提携を実施する企業や団体とは、その活動を通じての学生の到達目標を伝え、意思統一を図っている	4	
	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	卒業生が在職している企業との情報交換により、卒業生の実態を把握し、在学中に学ぶべきことの刷新へと展開している	4	

① 課題

- A:卒業生の評価は、就業先へのインターン訪問時に把握しているが、量的に不十分である。
B:教育目的に基づいた年度末の評価はとりまとめているが、評価報告書として整備されていない。

② 今後の改善方策

- A:卒業生の卒業後の社会的活躍や評価を、把握するために卒業後アンケートの検討・実施を2016年度に実施する。
B:評価報告書を整備し、記録として継続的に残るような体制を創る。

③ 特記事項

- ・昨年度に発足した卒業生同窓会組織との定期的な連携を体系化する。

≪学校関係者評価委員会での意見≫

- 1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか
 - ・在校時に卒業後アンケートを事前に予告しておくと思われる。
 - ・人材評価=成績評価は進級、卒業制作の項目だけではなく、各科目で実施されている方が良い。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
5 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携、就職説明の項で就職活動の支援体制や各種書類について説明している。学生の就職状況に関しては定期的に会議を開催し、情報共有を図っている	4	
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任への相談や就職担当への就職相談に加え、学校カウンセラーによる相談を受け付け、学生・保護者双方の相談対応をすすめている	4	
	3 保護者と適切に連携しているか	4	特に就職に関しては、就職保護者会や3者面談等を通じ学校と家庭との連携を密にし、ミスマッチのない就職指導をしている	4	
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	教育環境の中で、既に持っている教材・教科書・検定資格等への対応は明文化されていない。	3	・対応に取り組んでほしい(鈴木)・左記コメントに納得(安原)
	5 卒業生への支援体制はあるか	3	常勤講師の支援(転職サポートや資格取得支援)は継続中であるが、学校全体での支援体制は整備されていない。	3	
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	学生が利用できるPC等学内施設やカウンセリングサービス、図書サロンの活用のため、オリエンテーション等で周知している	4	
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優遇制度により学生を顕彰するとともに、学生課より奨学金の案内や教育ローン、学費サポートプランなどを学生、保護者ともに案内している	4	
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を年度当初に適切に実施している。メンタルケアに関しては、学生相談室を学外に設け、対応している	4	
	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	デザイン校として課外活動を重視しており、特に企業コラボでの実践力獲得機会の創出を実施、情報提供・斡旋をしている。受動的で個別対応が主なため、包括的な支援体制化が課題である。	4	・デザイン校としての強みを企業コラボを通して発揮されることを期待したい(安倍)・積極的に取り組んでいるように思われる(鈴木)・運動部等、専門性に寄らない体制の窓口があるだけでも充分ではないかと感じる。課外時の教職員の負担が計上されていると良い(安武)
	10 学生の生活環境への支援は行われているか	4	定期的に学生との個別面談を実施し、学生の生活環境を聞き取り、必要な助言を担当や学科長等から伝えている	4	
	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会等に積極的に参加し、高校内でのキャリア教育との連携を図っている	4	

① 課題

・デザイン校として課外活動を重視しており、特に企業コラボでの実践力獲得機会の創出を実施、情報提供・斡旋をしている。しかし、受動的で個別対応が主なため、包括的な支援体制化が課題である。

② 今後の改善方策

3年制の完成年度に向けて、学科別に外部との教育連携(プロジェクトラーニング)を計画的に課外活動として体系化していく。

③ 特記事項

なし

≪学校関係者評価委員会での意見≫

9 課外活動に対する支援体制は整備されているか

・デザイン校としての強みを企業コラボを通して発揮されることを期待したい(安倍)・積極的に取り組んでいるように思われる。

・運動部等、専門性に寄らない体制の窓口があるだけでも充分ではないか。課外時の教職員の負担が計上されていると良い。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
6 教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	既存設備の保守点検とともに、教育内容の変更・進化に伴う新設備の導入をすすめ、教育環境を常に刷新している	4	
	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	物品のチェックリストが作成されていない。(ものづくり工房の設備・備品など)美容師科新設・雑貨・プロダクト・建築・インテリア科の廃止に伴い、管理・点検システムの見直し。	3	・左記に納得(安武)
	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	講師会において常勤・非常勤間で地震防災の対応を共有している。また災害備蓄品の管理を定期的に行い、有事に備えている	4	・今後の訓練実施報告に期待(原)
	4 防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練の実施、学校飼育動物への対応など、防災体制を整備している	4	・火災想定訓練も取り組むというので(鈴木)・今後の訓練実施報告に期待(原)
	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターン実習や国内研修、海外授業など、学外で行われる教育活動の前には直前セミナー等を実施し、安全な実習ができるよう指導している	4	・今後の訓練実施報告に期待(原)

① 課題

・学校施設・備品等は定期的に管理・点検されているが、物品のチェックリストが作成されていない。

② 今後の改善方策

・新設の「ものづくり工房」「シャンプー室」の設備・備品や、美容師科新設・雑貨・プロダクト・建築・インテリア科の廃止に伴い、管理・点検システムを明文化する。

③ 特記事項

・デザイン校として授業外での教室・設備使用の頻度が高いため、環境維持の為に管理・点検する仕組みを定着させる。

《学校関係者評価委員会での意見》

4 防災に対する体制は整備されているか

- ・新設備導入に伴い次年度は火災想定訓練も取り組むという姿勢は評価できる。
- ・今後は訓練実施報告書などの記録を残していくことも重要ではないかと感じる。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
7 学生 の 受 入 れ 募 集	1 学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	AO入試、推薦・一般入試ともに、入学願書の提出を必須とし、その他出願資料と合わせて適切に管理している	4	
	2 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	入学願書、出願書類により入学資格の有無などを正しく把握できる体制をとっている	4	
	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項を作成し、入学資格および受験方法を記載し、適切に周知を図っている	4	
	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	学生募集要項内に、学費等の一覧および納入期限等を明記し、受験者並びに保護者が学費等に対し正しく理解されるよう配慮している	4	
	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	学校案内パンフレットにおいて、教育概要を伝えつつ、「就職先内定速報」を作成・配布し教育成果の発信に努めている	4	
	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	学生必携において、学校から発行される証明書の種類や手続き方法などを記載し、オリエンテーション等で説明している	4	
	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学試験において、履修上、就職上支障となる志願者の事情を確認し、履修に不具合がないように配慮している	4	・特別な支援を必要とする学生への今以上の対応をお願いしたい(安倍)・高い水準にあると考える(原)
	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	入学前オープンキャンパス内での保護者説明会、入学直後の説明会、年1~2回の保護者会にて、保護者に対し学校の取組等を説明している	4	
	9 学納金は妥当なものとなっているか	4	入学金、授業料等に加え、教材費等在学中に必要なとなる経費を募集要項内に記載し、学費に関する理解を図っている	4	

① 課題

- ・学生募集における情報提供や学生個人情報の管理は適性に行われている。入学者数の確保が課題である。

② 今後の改善方策

・募集において従来のやり方に囚われない広報活動(SNS、WEBの強化など)により、認知度を高め来校者を増やす。

③ 特記事項

なし

≪学校関係者評価委員会での意見≫

7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか

・特別な支援を必要とする学生への今以上の対応をお願いしたい。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
8 教育の内部質保証システム	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内に機密保護管理規定を設け、個人情報保護に努めている	4	
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	教員数、教室数、学生管理等、専修学校設置基準に準拠した運営を進めている	4	
	3 文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	2	文書管理リストが作成されていない。文書管理規定の中で、機密文書が明確化されていない。	3	・制作中であるため(鈴木)・左記に同感(安武)・改善に向け動いているので3とした(原)
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	自己点検非担当者による内部監査を実施し、自己点検・評価の問題点等の改善を抽出している	4	
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	自己点検非担当者による監査を実施し、責任者に対して結果の報告を行う体制となった。	4	
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査を経て、自己点検で抽出された課題への対策を検討し、新年度の学校運営に生かしている	4	
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4	2月までに学校関係者評価を受け、3月には問題点への対策を検討し、新学期には問題点が解消または着手された段階を迎えている	4	
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式ホームページ内、学校情報ページにて過去のものも含めて公開している	4	

① 課題

・文書管理リストが作成されていない。文書管理規定の中で、機密文書が明確化されていない。

② 今後の改善方策

・文書管理リストを作成し、機密文書を明確化する。

③ 特記事項

文書管理規定は現在制作中である。

《学校関係者評価委員会での意見》

6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか

是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで明確化されるが、規定の共有はなされていないという課題を、正しく把握している

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を毎年実施し、監査報告書として文書で記録している	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後、財務状況を公式ホームページ内学校情報ページにアップしている	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	入学者数の減少により、短期的に安定していないが、一部学科の3年制移行により、安定化の施策は、取られている。	3	・左記理由に納得(中期的という点で)(安武)
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している	4	

① 課題

会計監査、財務情報公開は適切になされているが、デザイン校単体で見た時の財務状況は厳しい。

② 今後の改善方策

入学者数を増やし、長期的に安定した在籍数を確保する。

③ 特記事項

入学者数の減少により、短期的に安定していないが、一部学科の3年制移行により、安定化の施策は、取られている。

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
10 社会貢献・地域貢献	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	講師・設備を活用し、地域の若年者向けの職業理解教育に貢献しているが、全体方針は明文化されていない。	4	・左記実績で充分かと思う(安武)
	2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	学科ごとにボランティアを奨励・支援しているが、学校全体の体制は明文化されていない。	3	・重要な教育機会と感じる(安武)
	3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	地域の若年者向けの職業理解教育に貢献しているのみである。	3	・主催ではなく受託という表記(条件)が気になる(主催事業でも充分かと感じる)(安武)

① 課題

・社会貢献・地域貢献は、一部、講師・設備を活用し、地域の若年者向けの職業理解教育に貢献しているが、全体的な方針を定めていない。

② 今後の改善方策

・企業や若年層への実施のみならず、学科の特性に合わせて、今後の高齢化社会にも対応した、社会貢献・地域貢献の全体方針・仕組みを検討していく。

③ 特記事項

・3年制学科の完成年度に向けて、長期ボランティア活動や海外支援活動等の単位化など、全体方針を検討していく。

《学校関係者評価委員会での意見》

3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

・主催ではなく受託という表記(条件)が気になる。主催事業と捉えても貴校の取り組みは充分かと感じる。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
11 国際交流(必要に応じて)	1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか				
	2 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか				
	3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか				
	4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	卒業年次の海外授業において、日本での学習成果を海外の事業所等で発表するなどの機会を設けている	4	

① 課題

・開校以来11年連続で海外授業を実施し、年々現地プログラムが進化している。しかし、受入施設の状態(主としてテロ等の政情不安や担当者の変更)を考慮した柔軟な企画運営が必要であり、それにより、学生への情報伝達の時期が延期・遅延する場合がある。

② 今後の改善方策

・学校主導での企画・立案能力の向上を図る。旅行代理店及び現地コーディネーターとの連絡を密にし、安全を基本としつつ充実したプログラムを実践できるよう毎年見直しと改善を続ける。

③ 特記事項

留学生の受け入れや派遣は、学習言語の点及び卒後の進路指導での制限(就職)の関係上、積極的に行っていない。

≪学校関係者評価委員会での意見≫

なし